

運用報告書（全体版）

追加型投信／内外／資産複合

リスク・パリティ α オープン

作成対象期間：2014年4月15日～2015年4月14日

第2期（決算日 2015年4月14日）

<受益者のみなさまへ>

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび「リスク・パリティ α オープン」は、2015年4月14日に第2期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2023年4月14日まで（2013年4月22日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）の受益証券およびマネー・プール マザーファンドの受益証券
	アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）	世界各国の株式、債券、コモディティおよび短期金利の指数等に係るスワップ取引または先物取引に係る権利
	マネー・プールマザーファンド	わが国の公社債
運用方法	・主として、世界各国の株式、債券、コモディティ、短期金利の指数等に関するスワップ取引・先物取引を活用します。 ・アキラ・キャピタルの「リスク・パリティ戦略」を活用した運用を行います。 ・原則として、対円で為替ヘッジを行います。	
主な投資制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。	
分配方針	毎年4月14日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

本報告書に関するお問い合わせ先は、以下の通りです。

コールセンター

フリーダイヤル **0120-759311**

受付時間は営業日の午前9時～午後5時

国際投信投資顧問

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目1番1号

ホームページ <http://www.kokusai-am.co.jp>

■ 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比	投 資 信 託 証 券 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	騰 落 率				
(設 定 日) 2013年4月22日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	% —	百万円 2,952
1期 (2014年4月14日)	9,550	0	△4.5	0.1	—	98.9	3,507
2期 (2015年4月14日)	10,139	0	6.2	0.0	—	99.0	1,592

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れていますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■ 当期の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比	投 資 信 託 証 券 比 率
	騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2014年 4月14日	円 9,550	% —	% 0.1	% —	% 98.9
4月末	9,582	0.3	0.0	—	99.0
5月末	9,994	4.6	0.0	—	99.0
6月末	10,052	5.3	0.0	—	99.0
7月末	9,930	4.0	0.0	—	99.0
8月末	10,115	5.9	0.0	—	99.0
9月末	9,820	2.8	0.0	—	99.0
10月末	9,928	4.0	0.0	—	99.0
11月末	10,112	5.9	0.0	—	99.1
12月末	9,871	3.4	0.0	—	99.0
2015年 1月末	10,146	6.2	0.0	—	99.0
2月末	10,277	7.6	0.0	—	99.0
3月末	10,100	5.8	0.0	—	99.0
(期 末) 2015年 4月14日	10,139	6.2	0.0	—	99.0

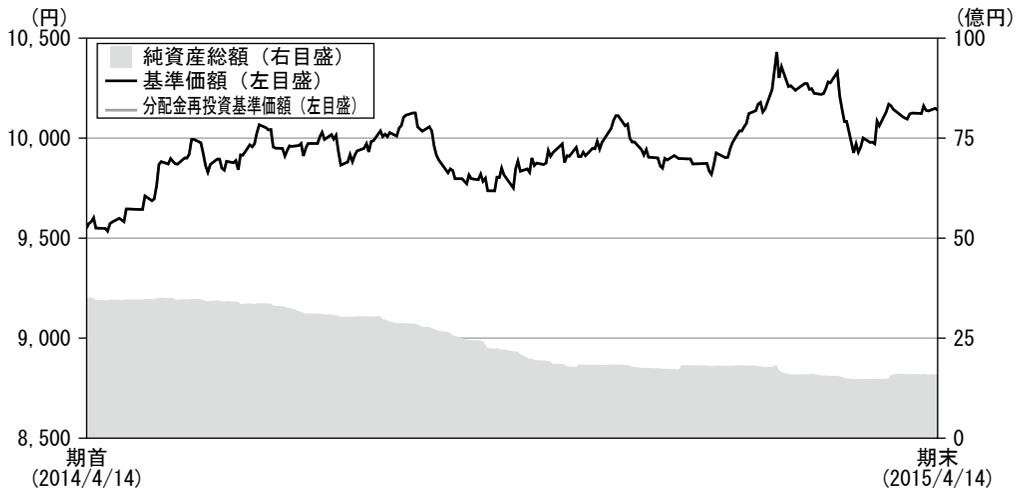
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れていますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

運用経過

基準価額等の推移について (作成対象期間：2014年4月15日～2015年4月14日)



当ファンドの作成対象期間中の騰落率は
プラス6.2%となりました。

期首 : 9,550円
 期末 : 10,139円 (既払分配金0円 (税込み))
 騰落率 : +6.2% (分配金再投資ベース)

(注) 騰落率は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

※分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

※分配金再投資基準価額は、期首の基準価額の値と等しくして指数化したものです。

基準価額の主な変動要因 (作成対象期間：2014年4月15日～2015年4月14日)

➤ 主なプラス要因

先進国の株式が上昇したこと。
 先進国の国債の利回りが低下 (価格は上昇) したこと。

➤ 主なマイナス要因

コモディティの価格が下落したこと。

投資環境について（作成対象期間：2014年4月15日～2015年4月14日）**＞株式市場の動向**

世界の株式市場は、作成対象期間の初めから2014年8月にかけては、米国の経済指標が好調だったことや日米欧の中央銀行の金融緩和策などを背景に上昇しました。9月から10月にかけては、世界経済の先行き不透明感や米連邦準備理事会（FRB）による早期の利上げ観測などから下落しました。11月から作成対象期間末にかけては、日銀や欧州中央銀行（ECB）による量的金融緩和策、米国の堅調な経済指標などを背景に上昇しました。

＞債券市場の動向

FRBが2014年10月に量的金融緩和策を終了したものの、低金利政策が続いたことなどから、米国国債の利回りは低下（価格は上昇）しました。日銀やECBによる量的金融緩和策などを背景に、先進国の国債の利回りは低下（価格は上昇）しました。

＞短期金利（約2年後に期限が満了する金利先物）の動向

FRBによる早期の利上げ観測を受けて、米ドルの短期金利は上昇しました。ECBによる量的金融緩和策の実施を受けて、ユーロの短期金利は低下しました。英国の利上げ観測が後退したことを受けて、英ポンドの短期金利は低下しました。

＞コモディティ（商品市場）の動向

商品市場は原油や穀物など幅広い銘柄が下落し、軟調となりました。

＞国内短期金融市場の動向**〈無担保コール翌日物金利の推移〉**

日銀による金融緩和策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0.1%を下回る水準で推移しました。

〈国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移〉

2014年8月まで低位で推移していた国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りは、9月以降、日銀による短期国債の買入れや短期国債の需給の引き締めなどから、マイナスとなりました。10月末の日銀による追加の金融緩和策を受けて、日銀の短期国債の買入れが減少するとの見通しなどから、11月初旬にかけて同利回りは上昇し、0%を上回りました。その後も一時的に同利回りは0%を上回ることがあったものの、おおむね0%以下で推移しました。

ポートフォリオについて (作成対象期間：2014年4月15日～2015年4月14日)

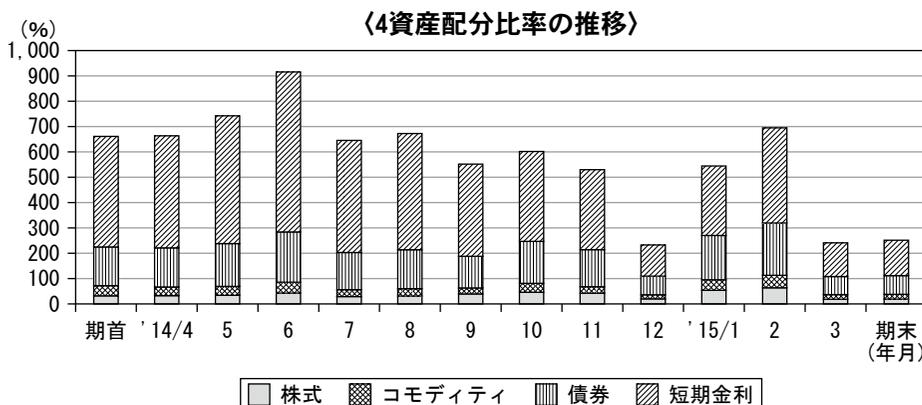
➤リスク・パリティαオープン

円建の外国投資信託であるアキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド (JPY) の受益証券に投資を行いました。また、マネー・プール マザーファンドの受益証券への投資も行いました。

➤アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド (JPY)

(当記載は、アキラ・キャピタル・コンセプツ・ゲーエムベーパーの資料を基に、国際投信投資顧問が作成したものです。)

- 主として、世界各国の株式、債券、コモディティ、短期金利の指数等に関するスワップ取引・先物取引を活用するとともに、為替変動の影響を受ける部分について対円で為替ヘッジを行いました。
- ポートフォリオは、毎月初めにポートフォリオ全体のリスク水準を調整し、①基本となる「リスク・パリティ戦略」による株式、債券、コモディティ、短期金利の4資産への分散投資、②アルファ・モデルによる更なる投資効率の追求のため配分比率の調整、③フロアの設定による月間損失率のコントロールを目的としたレバレッジ調整を活用して構築しました。毎月初めにポートフォリオ全体のリスク水準を調整し、上記①～③の運用戦略を活用した結果、期首および月末、期末の配分比率はグラフ〈4資産配分比率の推移〉の通りとしました。2014年12月は、月末にかけて基準価額が下落し月間損失率が「フロア」に近づいたことや複数資産において下落リスクが高まったことなどを受け、12月末の4資産配分比率の合計は232.7%としました。2015年3月の後半から期末にかけては、複数資産において下落リスクが高まったことを受け、期末の4資産配分比率の合計は251.3%としました。



※比率はアキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド (JPY) における純資産総額に対する割合で、債券 (現物資産)、現金等、為替取引は含みません。
 ※4資産配分比率は、現地月末の値、期首は現地2014年4月11日の値、期末は現地2015年4月13日の値です。

➤マネー・プール マザーファンド

わが国の短期国債 (国庫短期証券) 現先取引およびコール・ローンへの投資を通じて、常時適正な流動性を保持するように運用を行いました。

■ 分配金について

分配については、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、当期の分配は見送らせていただきました。なお、分配金に充てなかった留保益については、特に制限を設けず、運用の基本方針に則した運用を行います。

■ 今後の運用方針

➤ リスク・パリティαオープン

引き続き、円建の外国投資信託であるアキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）の受益証券に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンドの受益証券への投資も行いません。

➤ アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）

（当記載は、アキラ・キャピタル・コンセプト・ゲーエムベーハーの資料を基に、国際投信投資顧問が作成したものです。）

- 引き続き、主として、世界各国の株式、債券、コモディティ、短期金利の指数等に関するスワップ取引・先物取引を活用します。為替変動の影響を受ける部分について、原則として対円で為替ヘッジを行います。
- ポートフォリオは、毎月初めにポートフォリオ全体のリスク水準を調整し、①基本となる「リスク・パリティ戦略」による株式、債券、コモディティ、短期金利の4資産への分散投資、②アルファ・モデルによる更なる投資効率の追求のため配分比率の調整、③フロアの設定による月間損失率のコントロールを目的としたレバレッジ調整を活用して構築する方針です。

➤ マネー・プール マザーファンド

引き続き、わが国の短期国債（国庫短期証券）現先取引およびコール・ローンでの運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当期 (2014/4/15~2015/4/14)		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	127 円	1.274 %	(a) 信託報酬＝作成対象期間の平均基準価額× 信託報酬率× $\frac{\text{作成対象期間の日数}}{\text{年間日数}}$ 作成対象期間の平均基準価額は9,993円 です。
(投 信 会 社)	(49)	(0.487)	・当ファンドの運用、受託会社への運用指図、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(75)	(0.755)	・交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.032)	・当ファンドの財産の保管および管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.011	(b) その他費用＝ $\frac{\text{作成対象期間のその他費用}}{\text{作成対象期間の平均受益権口数}}$
(監 査 費 用)	(1)	(0.011)	・監査法人に支払われる当ファンドの監査費用等
合 計	128	1.285	

(注1) 作成対象期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は作成対象期間末の税率を採用しています。

(注3) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成対象期間の平均基準価額（各月末の単純平均）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注5) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

■ 当期の売買及び取引の状況 (2014年4月15日から2015年4月14日まで)

(1) 投資信託証券

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口	千円	千口	千円
アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド (JPY)	461, 997	465, 529	2, 438, 235	2, 461, 235
合 計	461, 997	465, 529	2, 438, 235	2, 461, 235

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数・金額の単位未満は切り捨てです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネー・プール マザーファンド	千口	千円	千口	千円
	—	—	2, 987	3, 001

(注) 口数・金額の単位未満は切り捨てです。

■ 当期の利害関係人※との取引状況等 (2014年4月15日から2015年4月14日まで)

(1) 利害関係人との取引状況

① リスク・パリティαオープン

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 465	百万円 —	% —	百万円 2, 461	百万円 —	% —

② マネー・プール マザーファンド

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
現先取引 (公社債)	百万円 512, 715	百万円 —	% —	百万円 512, 415	百万円 —	% —

平均保有割合 0.0%

(平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子投資信託の親投資信託所有口数の割合です。)

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	－千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	－千円
(B) / (A)	－%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における利害関係人との取引はありません。

■ 自社による当ファンドの設定・解約状況 (2014年4月15日から2015年4月14日まで)

該当ありません。

■ 組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期		末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド (JPY)	千口 1,624,945	千円 1,576,847		% 99.0
合 計	1,624,945	1,576,847		99.0

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切り捨てです。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首 (前期末)	当 期		末
	口 数	口 数	評 価 額	評 価 額
マ ネ ー ・ プ ール マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 2,988	千口 0.995		千円 0.999

(注1) 当マザーファンド全体の受益権口数は1,509,644千口です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切り捨てです。ただし、単位未満の場合は小数で記載しています。

■ 投資信託財産の構成

2015年4月14日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比	評 価 額	率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 1,576,847			% 98.2
マ ネ ー ・ プ ール マ ザ ー フ ァ ン ド	0.999			0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	28,381			1.8
投 資 信 託 財 産 総 額	1,605,228			100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。ただし、単位未満の場合は小数で記載しています。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2015年4月14日) 現在

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	1,605,228,116
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	26,813,680
投資信託受益証券(評価額)	1,576,847,113
マネー・プール マザーファンド(評価額)	999
未 収 入 金	1,566,297
未 収 利 息	27
(B) 負 債	12,439,448
未 払 解 約 金	1,319,370
未 払 信 託 報 酬	11,026,695
そ の 他 未 払 費 用	93,383
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	1,592,788,668
元 本	1,570,895,278
次 期 繰 越 損 益 金	21,893,390
(D) 受 益 権 総 口 数	1,570,895,278口
1万口当たり基準価額(C / D)	10,139円

■ 損益の状況

当期 (自2014年4月15日 至2015年4月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	101,040,747
受 取 配 当 金	101,023,929
受 取 利 息	16,818
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	2,539,244
売 買 益	108,585,254
売 買 損	△106,046,010
(C) 信 託 報 酬 等	△ 31,151,083
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	72,428,908
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 35,069,130
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 15,466,388
(配 当 等 相 当 額)	(2,037)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 15,468,425)
(G) 計 (D + E + F)	21,893,390
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G + H)	21,893,390
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 15,466,388
(配 当 等 相 当 額)	(2,037)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 15,468,425)
分 配 準 備 積 立 金	70,652,889
繰 越 損 益 金	△ 33,293,111

(注1) 損益の状況の中で

- ・ (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- ・ (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- ・ (F) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 当ファンドの期首元本額は3,673,296,955円、期中追加設定元本額は532,886,468円、期中一部解約元本額は2,635,288,145円です。

(注3) 1口当たり純資産額は、当期末1.0139円です。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期 末
(a) 配当等収益(費用控除後)	70,652,889円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後)	0
(c) 信託約款に規定する収益調整金	2,037
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	—
(e) 分配対象収益(a + b + c + d)	70,654,926
(f) 分配金額	—
(g) 分配金額(1万口当たり)	—

※本運用報告書作成時点において、本計算期間に係るファンドの監査は終了していません。

■ 分配金のお知らせ

当期分配金はありません。

分配原資の内訳 (1万口当たり、税込み)

	第2期 2014年4月15日～ 2015年4月14日
当期分配金	－円
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	449円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損金補てん後の有価証券売買等損益（評価益を含む）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

■ お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律等の改正に伴い、2014年12月1日以降に作成期日（作成基準日となるファンドの決算日）を迎える運用報告書については、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項を記載した「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本報告書）に二段階化されることになりました。

「運用報告書（全体版）」は弊社のホームページでご覧いただけますが、ご請求いただいた場合には交付いたします。詳しくは、販売会社までお問い合わせください。

■ 約款変更について (作成対象期間：2014年4月15日～2015年4月14日)

- 「運用報告書（全体版）」について電磁的方法により提供するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 投資信託の併合及び約款変更並びに投資信託契約の解約に関する書面決議に係る受益者数要件を廃止するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 受益者の利益に及ぼす影響が軽微な投資信託の併合に関する書面決議を不要とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 反対受益者の受益権買取請求の規定を適用除外とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。

<参考>投資対象とする投資信託証券の概要

アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）

当ファンドは、リスク・パリティαオープンが投資対象とする円建の外国投資信託です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

投資の基本方針	<p>主として、世界各国の株式、債券、コモディティ、短期金利の指数等に関するスワップ取引・先物取引を活用します。また、為替変動の影響を受ける部分については、原則として対円で為替ヘッジを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スワップ取引および先物取引は、実質的に投資対象となる各資産について、原則としてロング・ポジション（買い持ち）を構築します。 先物取引については、組入比率の調整を目的として、売建てを行う場合があります。 ・スワップ取引および先物取引以外の部分については、主として先進国の国債に投資を行います。
運用方針	<p>アキラ・キャピタル・コンセプト・ゲーエムベーハーの「リスク・パリティ戦略」を活用した運用を行います。当戦略では、各資産それぞれの価格変動がポートフォリオ全体のパフォーマンスに与える影響度がおおむね均等となるように分散投資を行います。</p>
投資顧問会社	アキラ・キャピタル・コンセプト・ゲーエムベーハー*
信託期限	無期限
設定日	2013年4月22日
会計年度	毎年12月末
収益分配	原則として、毎月分配を行います。

*アキラ・キャピタル・コンセプト・ゲーエムベーハー（所在地：独ハンブルグ）は、オルタナティブ投資に特化したドイツの独立系運用会社です。同社では、2004年よりリスク・パリティ戦略を用いたファンドの運用を行っています。

損益計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、国際投信投資顧問が編集および一部翻訳したものです。

1. 損益計算書

(2013年4月22日～2013年12月30日)

(日本円で表示)

投資収益	
受取利息	¥ 452,634
投資収益合計	<u>452,634</u>
費用	
運用受託報酬	16,337,585
管理報酬	15,044,237
専門家報酬	4,609,125
会計処理および管理手数料	2,408,626
名義書換事務代行手数料	380,783
創立費	21,576
費用合計	<u>38,801,932</u>
投資純利益	<u>(38,349,298)</u>
実現および未実現損益：	
実現損益：	
先物取引	(287,152,847)
スワップ取引	(186,740,215)
外国通貨取引	(14,945,359)
実現純損益	<u>(488,838,421)</u>
未実現評価損益の純変動：	
投資有価証券	277,233,610
スワップ取引	(9,762,858)
先物取引	(127,735,989)
外国通貨取引	4,197,627
未実現評価損益の純変動	<u>143,932,390</u>
実現および未実現損益（純額）	<u>(344,906,031)</u>
営業活動による純資産の増減（純額）	<u>¥ (383,255,329)</u>

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

2. 投資明細表

(2013年12月30日現在)

元本金額	銘柄名	純資産比率	公正価値
	FIXED INCOME SECURITIES (83.9%)		
	GERMANY (83.9%)		
	GOVERNMENT BONDS (83.9%)		
	Bundesobligation		
EUR 7,000,000	1.75% due 10/09/15		¥ 1,042,767,393
EUR 10,000,000	2.25% due 04/10/15		1,488,343,619
	Bundesrepublik Deutschland		
EUR 5,000,000	3.75% due 01/04/15		751,291,853
	TOTAL GOVERNMENT BONDS		3,282,402,865
	TOTAL GERMANY (Cost ¥3,005,673,772)		3,282,402,865
	TOTAL FIXED INCOME SECURITIES (Cost ¥3,005,673,772)		3,282,402,865
	SHORT TERM INVESTMENTS (1.7%)		
	SWEDEN (0.3%)		
	TIME DEPOSIT (0.3%)		
	Skandinaviska Enskilda Banken AB		
EUR 93,989	0.08% due 01/02/14		13,630,851
	TOTAL TIME DEPOSIT		13,630,851
	TOTAL SWEDEN (Cost ¥13,419,993)		13,630,851
	NORWAY (0.8%)		
	TIME DEPOSIT (0.8%)		
	DnB NORBank ASA		
USD 289,791	0.03% due 01/02/14		30,455,602
	TOTAL TIME DEPOSIT		30,455,602
	TOTAL NORWAY (Cost ¥30,161,943)		30,455,602
	GRAND CAYMAN (0.6%)		
	TIME DEPOSIT (0.6%)		
	Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ Ltd.		
JPY 24,472,517	0.01% due 01/06/14		24,472,517
	TOTAL TIME DEPOSIT		24,472,517
	TOTAL GRAND CAYMAN (Cost ¥24,472,517)		24,472,517
	TOTAL SHORT TERM INVESTMENTS (Cost ¥68,054,453)		68,558,970
	TOTAL INVESTMENTS (Cost ¥3,073,728,225)	85.6%	¥ 3,350,961,835
	CASH AND OTHER ASSETS IN EXCESS OF LIABILITIES	14.4	562,009,142
	NET ASSETS	100.0%	¥ 3,912,970,977

先物取引

Cash in the amount of ¥292,148,049 has been pledged as collateral for the following futures contracts as of December 30, 2013.

(2013年12月30日現在)

ポジション	銘柄	限月	契約		未実現 評価損益
Long	3-Month Euro Euribor Future	12/2015	138	¥	(4,938,130)
Long	90-Day Eurodollar Future	12/2015	216		(8,721,571)
Long	90-Day Sterling Future	12/2015	128		(9,509,041)
Long	Canada Government 10-Year Bond Future	03/2014	100		(7,699,394)
Long	E-mini S&P 500 Future	03/2014	41		12,630,317
Short	EUR/JPY Future	03/2014	(184)		(95,795,000)
Long	Euro-Bund Future	03/2014	66		(15,723,701)
Long	The Euro STOXX 50 Future	03/2014	77		15,926,737
Long	US 10 Year Note Future	03/2014	86		(13,906,206)
					¥ (127,735,989)

Cash in the amount of ¥355,089,652 has been pledged as collateral for the following open swap contracts as of December 30, 2013.

トータル・リターン・スワップ取引

(2013年12月30日現在)

想定元本	支払/受取	参照指標	取引相手	通貨	終了日	プレミアム 支払(受取)	未実現 評価損益
19,506,605	Pay 0.49%	UBS Bloomberg CMCI Composite USD Excess Return Index	UBS	USD	06/20/2014	¥ - ¥	(10,748,990)
5,089,249	Pay 0.12% Pay USD- LIBOR-	UBS G10 Rolling Duration Index	UBS	EUR	04/23/2015	-	(465,188)
4,026,954	BBA plus 0.35%	MSCI World Risk Weighted Net TR Index	UBS	USD	06/20/2014	-	1,451,320
Total Unrealized Gain/Loss on Total Return Swaps						¥ - ¥	(9,762,858)

デリバティブ商品の額

The following table is a summary of the Fund's derivative positions inclusive of potential netting arrangements. For additional information on derivative instruments, please refer to the Derivative Instrument section in Note 2 and the Market, Credit and Strategy Risks section in Note 4 of the accompanying Notes to Financial Statements.

	取引相手	デリバティブ 資産の額	デリバティブ 負債の額	差入担保金	受取担保金	純額*
店頭デリバティブ 中央清算された トータル・リターン・ スワップ	UBS A.G.	¥ 1,451,320	¥ (11,214,178)	¥ (11,214,178)	¥ -	¥ -
先物取引	Newedge Group	28,557,054	(156,293,043)	(156,293,043)	5,330,166	-
デリバティブ合計		¥ 30,008,374	¥ (167,507,221)	¥ (167,507,221)	¥ 5,330,166	¥ -

*Net represents the receivable/(payable) that would be due from/(to) the counterparty in an event of default. Netting is allowed across transactions traded under the same legal agreement with the same legal entity.

通貨略称

EUR	-	Euro
JPY	-	Japanese Yen
USD	-	United States Dollar

マネー・プール マザーファンド

運用報告書（全体版）

第11期（決算日 2015年1月14日）

（計算期間：2014年7月15日～2015年1月14日）

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主な投資対象	わが国の公社債
主な投資制限	外貨建資産への投資は行いません。

国際投信投資顧問

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目1番1号
URL <http://www.kokusai-am.co.jp>

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債券組入率	債券先物率	純資産額
		期騰	中落			
7期 (2013年1月15日)	円 10,034	% 0.0	% 0.0	% 89.3	% —	百万円 896
8期 (2013年7月16日)	10,039	0.0	0.0	91.6	—	1,854
9期 (2014年1月14日)	10,042	0.0	0.0	90.4	—	1,437
10期 (2014年7月14日)	10,045	0.0	0.0	93.4	—	1,284
11期 (2015年1月14日)	10,047	0.0	0.0	84.8	—	1,179

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■ 当期の基準価額等の推移

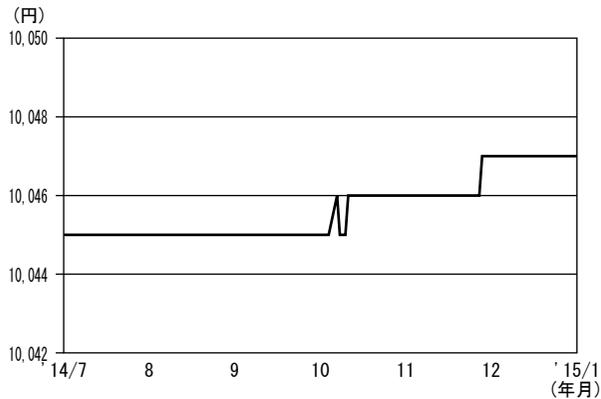
年月日	基準価額	騰落率		債券組入比率	債券先物比率
		期騰	中落		
(期首) 2014年 7月14日	円 10,045	% —	% —	% 93.4	% —
7月末	10,045	0.0	0.0	87.0	—
8月末	10,045	0.0	0.0	94.4	—
9月末	10,045	0.0	0.0	94.5	—
10月末	10,046	0.0	0.0	83.4	—
11月末	10,046	0.0	0.0	99.2	—
12月末	10,047	0.0	0.0	92.5	—
(期末) 2015年 1月14日	10,047	0.0	0.0	84.8	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

■ 運用経過

■ 基準価額等の推移について (作成対象期間：2014年7月15日～2015年1月14日)



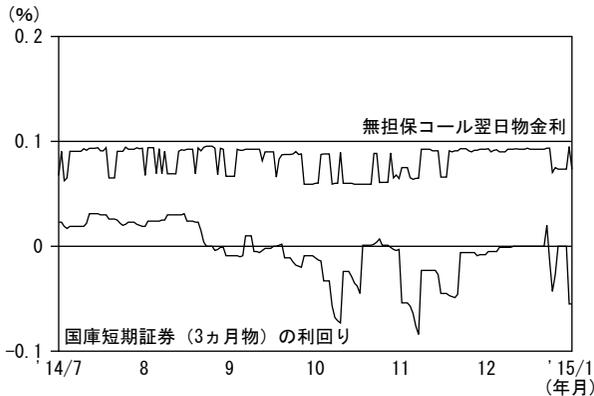
当マザーファンドの作成対象期間中の騰落率はプラス0.0%となりました。

■ 基準価額の主な変動要因 (作成対象期間：2014年7月15日～2015年1月14日)

日銀による金融緩和政策の影響から、短期金利は低位で推移しました。これらを受けて、基準価額は10,045円から10,047円の間で推移しました。

投資環境について (作成対象期間：2014年7月15日～2015年1月14日)

> 国内短期金融市場の動向



〈無担保コール翌日物金利の推移〉

日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0.1%を下回る水準で推移しました。

〈国庫短期証券(3ヵ月物)の利回りの推移〉

2014年8月まで低位で推移していた国庫短期証券(3ヵ月物)の利回りは、9月以降日銀による短期国債の買入れや短期国債の需給の引き締めなどから、マイナスとなりました。10月末の日銀による追加の金融緩和政策を受けて、日銀の短期国債の買入れが減少するとの見通しなどから、11月初旬にかけて同利回りは0%程度まで上昇しました。その後も、一時的に同利回りは0%程度まで上昇する場面がはあったものの、おむねマイナスで推移しました。

ポートフォリオについて (作成対象期間：2014年7月15日～2015年1月14日)

わが国の短期国債(国庫短期証券)現先取引およびコール・ローンへの投資を通じて、常時適正な流動性を保持するように運用を行いました。

■ 今後の運用方針

引き続き、わが国の短期国債(国庫短期証券)現先取引およびコール・ローンでの運用を行います。

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

当期に発生した費用はありません。

■ 当期の売買及び取引の状況（2014年7月15日から2015年1月14日まで）

公社債

国		買付額	売付額
内 証 券		千円	千円
国	債	362,921,039	363,121,089

(注1) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 金額の単位未満は切り捨てです。

■ 当期の主要な売買銘柄（2014年7月15日から2015年1月14日まで）

国内の現先取引のみであるため記載がありません。

■ 当期の利害関係人[※]との取引状況等（2014年7月15日から2015年1月14日まで）

(1) 利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
現 先 取 引 (公社債)	362,921	—	—	363,121	—	—

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	—千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	—千円
(B) / (A)	—%

[※]利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における利害関係人との取引はありません。

■ 組入資産の明細

① 国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期		末				
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	1,000,000 (1,000,000)	1,000,095 (1,000,095)	84.8 (84.8)	— (—)	— (—)	— (—)	84.8 (84.8)
合 計	1,000,000 (1,000,000)	1,000,095 (1,000,095)	84.8 (84.8)	— (—)	— (—)	— (—)	84.8 (84.8)

(注1) ()内は非上場債で内書きです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注4) 一印は組み入れがありません。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注6) BB格以下組入比率の計算においては、Moody'sとS&Pの格付けのうち高いものを採用しています。

② 国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(国債証券)	%	千円	千円	
第491回国庫短期証券※	—	140,000	140,009	—
第503回国庫短期証券※	—	860,000	860,086	—
合 計	—	1,000,000	1,000,095	

(注1) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注2) ※印は現先で保有している債券です。

■ 投資信託財産の構成

2015年1月14日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 1,000,095	% 84.6		
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	182,017	15.4		
投 資 信 託 財 産 総 額	1,182,112	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2015年1月14日) 現在

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	1,182,112,098
コール・ローン等	182,016,731
公 社 債(評価額)	1,000,095,100
未 収 利 息	267
(B) 負 債	2,125,332
未 払 解 約 金	2,125,332
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,179,986,766
元 本	1,174,422,749
次 期 繰 越 損 益 金	5,564,017
(D) 受 益 権 総 口 数	1,174,422,749口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,047円

■ 損益の状況

当期 (自2014年7月15日 至2015年1月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	345,884
受 取 利 息	345,884
(B) 当 期 損 益 金(A)	345,884
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	5,705,383
(D) 追 加 信 託 差 損 益 金	102,286,802
(E) 解 約 差 損 益 金	△102,774,052
(F) 計 (B+C+D+E)	5,564,017
次 期 繰 越 損 益 金(F)	5,564,017

(注1) 損益の状況の中で

- ・ (D) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- ・ (E) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 当マザーファンドの期首元本額は1,278,766,161円、期中追加設定元本額は22,249,585,285円、期中一部解約元本額は22,353,928,697円です。

(注3) 1口当たり純資産額は、当期末10,047円です。

(注4) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は以下の通りです。

ファン ド 名	当 期 末 元 本 額
	円
世界好利回りCBファンド 2013-03 為替ヘッジあり	99,642
世界好利回りCBファンド 2013-03 円高ヘッジ・円安追随型	99,642
短期ハイ・イールド債ファンド (為替ヘッジあり) 2013-12	99,582
短期ハイ・イールド債ファンド (為替ヘッジあり) 2014-02	99,572
短期ハイ・イールド債ファンド (為替ヘッジあり) 2014-03	99,572
短期ハイ・イールド債ファンド (為替ヘッジあり) 2014-04	99,562
先進国高利回り社債ファンド (為替ヘッジあり) 2014-09	99,553
先進国高利回り社債ファンド (為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2014-09	99,553
先進国高利回り社債ファンド (為替ヘッジあり) 2014-12	99,533
先進国高利回り社債ファンド (為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2014-12	99,533
新興国公社債オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	3,324,093
新興国公社債オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	200,000
新興国公社債オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	1,904,380
新興国公社債オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)	93,548
新興国公社債オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (毎月決算型)	21,243,807
新興国公社債オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	19,989
新興国公社債オープン (通貨選択型) マネー・プール・ファンド (年2回決算型)	8,038,528
世界投資適格債オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	5,154,901
世界投資適格債オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	49,966
世界投資適格債オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	995,161
世界投資適格債オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (毎月決算型)	2,234,005
世界投資適格債オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	28,349
世界投資適格債オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	1,013,875
世界投資適格債オープン (通貨選択型) マネー・プール・ファンドII (年2回決算型)	8,433,492
日本株 2.5フルペア・オープンII (マネー・プール・ファンド)Ⅲ	529,553,178
マネー・プール・ファンドIV	17,501,066
マネー・プール・ファンドVI	326,365,828
マネー・プール・ファンドVII (適格機関投資家専用)	976,834
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	4,314,823
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	119,857
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	769,078
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (毎月決算型)	15,855,020
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	19,977
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	554,401
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 資源国通貨/バスケットコース (毎月決算型)	1,608,548
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	19,961
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	19,925
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) マネー・プール・ファンドV (年2回決算型)	85,774,045
米国高利回り社債ファンド (毎月決算型)	999
米国高利回り社債・円ファンド (毎月決算型)	999
米国高利回り社債・ブラジル・レアルファンド (毎月決算型)	999
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 成長型	99,562
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 分配型	99,562
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 成長型	99,562
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 分配型	99,561
トレンド・アロケーション・オープン	997,308
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	99,682
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	99,682
国際オーストラリア債券オープン (毎月決算型)	997

ファン ド 名	当 期 末 元 本 額
	円
リスク・パリティαオープン	995
欧州ハイ・イールド債券ファンド (毎月決算型) 為替ヘッジあり	9,963
欧州ハイ・イールド債券ファンド (毎月決算型) 為替ヘッジなし	39,849
米国エネルギー-MLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215
米国エネルギー-MLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	99,602
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,602
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インド・ルピーコース (毎月決算型)	99,602
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,602
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) マレーシア・リンギコース (毎月決算型)	99,602
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 円コース (1年決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (1年決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (1年決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (1年決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (1年決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (1年決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (1年決算型)	9,960
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	9,960
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (1年決算型)	9,986
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (毎月決算型)	9,986
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (1年決算型)	9,960
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	9,960
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (1年決算型)	9,960
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)	9,960
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (1年決算型)	9,986
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,592
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) マネー・プール・ファンドIX (年2回決算型)	93,171,536
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) マネー・プール・ファンドX (年2回決算型)	38,334,180
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジあり)	4,979
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジなし)	4,979
US短期ハイ・イールド債オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	99,562
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,957
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,957
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,957
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,957
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,956
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,956
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (年2回決算型)	9,956
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,956
米国成長株オープン	996
合 計	1,174,422,749

國際投信投資顧問